

写真や本文等の転載は
ご遠慮ください。



もくじ



4年生 広島^{つた}のひばくと伝えたいこと 1

学習 1 広島^{つた}のひばくとひがい 2

参考資料 ^{ながさき}長崎のひばく^の事実 5

学習 2 ^{あきこ}明子^{さん}のピアノ 6

～河本明子^{さん}のお話～

参考資料 今に受け^{あきこ}つがれる明子^{さん}のピアノ 8

学習 3 ^{のこ}残^{つた}したいもの、伝えたいこと 9

参考資料 ^{げんぱく}原爆ドームがユネスコ^{いさん}の世界遺産に 10

5年生 広島^{ふっこう}市の復興^{ひとびと}と人々の願い 11

学習 1 戦争・原子^{ふきん}ばくだん^がうばったもの 12

～ひばく^者の思い～

学習 2 ^{ふっこう}復興^{ひとびと}と人々の願い 15

学習 3 ^{ふっこう}復興・発^{てん}の^にない手^{として} 18

参考資料 ^{ふっこう}広島市復興^{物語} 19

6年生 これからの広島 21

学習 1 平和なまちづくり 22

学習 2 暮らしの中の平和 26

学習 3 より平和なまちづくりを目指して 28

巻末資料 ^{じょうきょう}原子^{ばくだん}ひ災^{じょうきょう}状況 30

4年生

広島^{つた}のひばくと伝えたいこと



▲ひばく直後の^{ふきん}ばく心地^{付近}

(撮影:米軍 提供/広島平和記念資料館)

原子^{ふきん}ばくだんが投下された当時は、どのような様子^{ひとびと}だったのでしょうか。また、人々は
どんな気持ち^{ひとびと}で生活していたのでしょうか。

学んだことをもとに、自分たちが^{のこ}残^{つた}したいものや伝え^{ともだち}てい^{つた}きたいことを友達に伝えま
しょう。

●学習の流れ



4 広島^{つた}のひばくと伝えたいこと

学習 1

広島のひばくとひがい

原子ばくだんが投下されたころの様子やひがいについて調べよう。



▲原子ばくだんが投下される前の広島

(提供/野口巖)

★まちの様子を見て、気づいたことを書きましょう。

Four horizontal dashed lines for writing inside a blue dotted border.

タブレットで写真を大きくして調べてみよう。

QRコード



(寄贈/二川一夫 所蔵/広島平和記念資料館)

広島に原子ばくだんが投下されたのはいつでしょうか。

19 (昭和) 年

月 日 午前 時 分



▲原子ばくだんが投下された後の広島

(撮影/米軍 所蔵/米国立公文書館 提供/広島平和記念資料館)

★まちの様子は、どのように変わったのでしょうか。

Four horizontal dashed lines for writing inside a blue dotted border, with a pencil icon in the top right corner.

●原子ばくだんによるひがい

リトル・ボーイとよばれた原子ばくだんは、ばくげき機B29エノラ・ゲイによって投下されました。原子ばくだんは、島病院の上空約600mでさくれつしました。1945(昭和20)年8月6日から12月31日までになくなった人は、約14万人といわれています。多くの人々の命をうばった、原子ばくだんによるひがいは、どのようなものだったのでしょうか。



(所蔵：米国立公文書館 提供：広島平和記念資料館)
▲リトル・ボーイ

○熱線によるひがい

ばく心地周辺の地表面の温度は、3,000~4,000度もありました。(鉄がとける温度は約1,500度)ばく心地から約1.2km以内で熱線の直しゃを受けた人は、体の内部組しきにまで大きなしょうがいを受け、ほとんどの人がその場でなくなったり、数日のうちになくなくなりました。



▲人かげの石
(寄贈：住友銀行広島支店 所蔵：広島平和記念資料館)

○ばく風によるひがい

原子ばくだんがばく発したときに発生したばく風は、ばく心地から半径2kmまでのほとんどの木ぞうの建物をこわしました。鉄きんコンクリートの建物の中にはつぶれたものもありました。ばく風により、人々はふき飛ばされ、その場でなくなった人、けがをした人、たおれた建物の下じきになってなくなった人、下じきになったまま焼け死んだ人がたくさんいました。



▲ばく風によって鉄こつが曲がった建物
(撮影：米国防略軍事調査団 所蔵：米国立公文書館 提供：広島平和記念資料館)

○放しゃ線によるひがい

原子ばくだんが落ちたときには、けがをしていなかったのに、その後、身体のいろいろな器官や部分の働きが悪くなって病気になったり、ずい分後になってなくなったりする人々もいました。げんざいも苦しんでいる人がたくさんいます。



(提供：佐々木繁夫、佐々木雅弘)

佐々木禎子さんは、2才の時にひばくしましたが、けがもなく元気に成長していました。

ところが、ひばくから9年後の小学6年生の時に、とつ然白血病になり、中学1年生の秋になくなりました。

★学習をしたことをまとめましょう。

Handwriting practice area with a pencil icon and three horizontal lines for writing.

★学習をふり返り、思ったことや考えたことを書きましょう。

Handwriting practice area with a pencil icon and three horizontal lines for writing.

さんこうしりょう 参考資料

ながさき 長崎のはびくの実事

広島市に原子ばくだんが落とされた3日後に、長崎市にも原子ばくだんが投下されました。長崎の原子ばくだんは「ファット・マン」とよばれていました。広島市と同様に、熱線・ばく風・放しゃ線の三つのひがいがあり、多くの人々がきずつき、命を失いました。



(提供：長崎原爆資料館)
▲長崎に投下された「ファット・マン」のまけい



(提供：長崎原爆資料館)
▲止まった時計

長崎に原子ばくだんがさくれつしたのはいつでしょうか。

19 (昭和) 年
 月 日 午前 時 分



(提供：長崎原爆資料館)
▲山里国民学校 (ばく心地から約600m)

インターネットでは公開できません

学習 2

明子さんのピアノ ～河本明子さんのお話～

河本明子さんは、どのような思いでピアノをひいていたのだろう。大好きなピアノがひけなくなったとき、どんな気持ちだったのだろう。

★がんばっていることや、むちゅうになっていることはありますか。

河本明子さんのピアノがほしいこと

河本明子さんは、1926（大正15）年、広島県出身の両親のもと、アメリカで生まれました。明子さんは、小さいころから、歌うことが大好きな女の子でした。そして、6才のころからピアノを習い始めました。

やがて、明子さんは、大切にしていたピアノとともに、広島へうつり住みました。明子さんは、ピアノが大好きで毎日のように練習にはげんでいました。その様子は、明子さんが書き続けていた日記にも記されています。

4年生になった明子さんは、お母さんと一緒にピアノをひくこともありました。小学校のえんそう会でもピアノをひいていました。



▲河本明子さん (提供/HOPEプロジェクト)

しかし、明子さんが、高等女学校の3年生（今の中学3年生）になったころから、戦争がはげしくなり、その後、明子さんも学徒動員されるようになりました。

「ピアノをひきたい。」

食べ物が不足していたこの時期、音楽を楽しむことはぜいたくなことでした。このころから、明子さんは、大好きだったピアノをひいたり、勉強したりすることがだんだんできなくなっていきました。



▲明子さんが4年生のころに書いた日記 (寄贈/山本正隆 提供/広島平和記念資料館)

1945（昭和20）年8月6日の朝、明子さんは、ばく心地からおおよそ1kmの場所の八丁堀で役所の仕事のお手伝いをしていました。そして……。

明子さんは、ばく風でふき飛ばされ、きずを負いながらも、三滝の家まで、必死で歩きました。橋もこわれていたので、川を泳いでわたりました。やっとの思いで家のそばまでたどり着いた時、明子さんは力つきてうずくまってしまうました。

「ああ、みんなに会いたい。もう一度、ピアノをひきたい。」

明子さんの家は、ばく風でまどガラスがこわれ、まどぎわにあったピアノには、ガラスがびっしりとつきささっていました。

よく日の8月7日、

「お母さん、赤いトマトが食べたい。」

という最期の言葉を残して、19才の明子さんはなくなりました。

学徒動員

戦争中、働く人が足りなくなったことから、中等学校以上の学生や生徒は工場などに作業をしに行きました。軍需工場で作業をしたほか、農家に行ってじゃがいもほりなどの作業を手伝ったり、ばくだんが落ちた後のあなうめをしたりしました。

インターネットでは公開できません

★戦争がはげしくなり、ピアノがひけなくなった明子さんは、どんな思いだったのでしょうか。

★学習をふり返り、思ったことや考えたことを書きましょう。

今に受けつがれる明子さんのピアノ

戦争が終わった後、明子さんのピアノは、三滝の実家に置かれたままでした。古くなった家をこわすにあたり、明子さんのピアノもかたづけの予定でした。

ちょうどその時、調律師の坂井原浩さんは、知人を通して、明子さんのピアノのそんざいを知りました。ピアノを見た坂井原さんは、「これはすててはいけないピアノだ」と思い、引き取ることにしました。



▲坂井原浩さん



▲二口とみ奈さん

その後、ピアノは明子さんの家族と親交のあった二口とみ奈さんの手にわたりました。「このピアノをいろいろな人に見てもらいたい。戦争の事実や明子さんの思いを知ってほしい」。そう思った二口さんは、坂井原さんとともにぼ金を集め、明子さんのピアノをしゅうふくしました。

そして、2005（平成17）年、ひばく60周年の時にチャリティーコンサートを開きました。それからは、毎年8月6日にコンサートを開き、多くの学校

で、たくさんの人々に美しい音色をとどけました。

げんざい、明子さんのピアノは、平和記念公園のレストハウスに保管されており、だれも見ることができるようになっています。



▲平和記念公園のレストハウス (提供/平和記念公園レストハウス)



▲明子さんのピアノ (提供/HOPEプロジェクト)

学習 3

のこ残したいもの、つた伝えたいこと

牛田中学校のPC放送部の部員たちは、何を伝えたいものか、何を残したいものか、何を伝えたいことを友達と伝え合おう。

～牛田中学校PC放送部の取組～



「ショパンを愛したピアノ」

「ショパンを愛したピアノ」は、牛田中学校PC放送部が、河本明子さんについて調べて作った作品です。河本明子さんの生がいや、当時の日記に書かれた明子さんの思いについてもしょうかいしています。

この作品は、NHKの全国中学校放送コンテストで最優秀賞を受賞し、げんざいは動画サイトで公開されたり、英語訳版やフランス語訳版、中国語訳版が作成されたりしています。

牛田中PC放送部が作成したえいそうの一部を見てみよう。

QRコード

★自分の残したいものや伝えたいことを書きましょう。

| のこ残したいもの | つた伝えたいこと |
|----------|--------------------|
| 例：原ばくドーム | 例：原子ばくだんのひがいやおそろしさ |
| | |
| | |
| | |

★これまでの3時間の学習をふり返り、考えたことを書きましょう。

Blank writing area with a pencil icon at the top right.

さんこうしりょう
参考資料

げんぱく
原爆ドームがユネスコの世界遺産に

原爆ドームは、ひばく前は「広島県産業奨励館」という名前で、県内の特産品がてんじ・はん売され、博物館や美じゅつ館としても利用されていました。

原爆ドームのほぞんについては、さん成する人たちはばかりではありませんでした。建物がこわれるきけんもありました。また、ひばくのつらい思い出につながるということから、「取りこわす」という考え方があったのです。

しかし、1才の時にひばくし、16才で白血病でなくなった楳山ヒロ子さんの日記をきっかけに、「原爆ドームだけが、原子ばくだんのおそろしさを伝え、二度とくり返してはならないとうたえかけているのだ。」という思いから、「ほぞんしよう」という声が高まり、1966(昭和41)年に広島市議会で原爆ドームのほぞんを決定しました。

そして、「原爆ドームほぞんぼ金」が始まり、広島市をはじめ国の内外からぼ金が集まりました。このぼ金により、1967(昭和42)年にほぞん工事を始めることになりました。

原爆ドームをほぞん・けいしょうしていくために、世界遺産への登録を求める声が高まり、1996(平成8)年12月にユネスコの世界遺産として登録されました。



▲ひばく前の様子



▲ひばく後の様子



▲げんざいの様子

5年生

ふっこう ひとびと
広島市の復興と人々の願い



ひとびと
人々はどのような思いで広島市を
ふっこう
復興させていったのだろうか。



▲復興に立ち上がる人々(1949(昭和24)年)

原子ばくだんの投下によって、かためつ的なひがいを受けた広島市は、どのようにして復興していったのでしょうか。

また、そこには、人々のどのような願いがこめられていたのでしょうか。

学んだことをもとに、国際平和文化都市広島の発てんのために自分ができることを考えてみましょう。

●学習の流れ



戦争・原子ばくだんがうばったもの
～ひばく者の思い～

ひばくした人々は、どのような思いで生きてこられたのだろうか。
ひばくした人のお話から、戦争や原子ばくだんがうばったものを考えよう。

●戦争・原子ばくだんがうばったものには、どのようなものがあるでしょうか。

お話を読む前に考えてみましょう。

| | |
|---|---|
| • | • |
| • | • |

消えない戦争のきず

藤恵京子さんのお話

1945(昭和20)年、藤恵京子さんは、当時、宇品国民学校4年生で、外国に戦いに出ているお父さんと助産師のお母さん、1才の妹がいました。8月6日は、そ開先の三次に行くために広島駅を出発し、最初のトンネルの中でひばくしました。

お母さんと妹は、えんこう橋の電停でひばくしました。お母さんは、まともに光を受け、9日後になくなります。妹は、左足と左手と顔にやけどを負い、その後の生活が始まります。

母とともにひばくした妹は、助かりました。その時、妹のようにおさない年で助かったのは、きせきだと言われました。妹は、みんなから「助かってよかった。生きていてよかった。」という言葉ばかりを聞いて育ちました。

しかし、妹の足には、ひどいケロイドが残り、変形してしまいました。くつがはけないので、ずっとげたをはいて過ごしました。

足のことが原因で、妹は、ひどいいじめにあうようになりました。当時は、原ばくの病気は伝せんするとわさされていたので、妹を指さして「指がくさる。」とか「近くで見ると、うつる。」とか言う人がいました。



原ばくから何年もたって、妹が小学校に通うようになってからも、見せ物のようにつかわれ、遠くから見物に来る人もいました。

足の手術は、15才くらいにならないとできないと言われていたので、妹は高校の夏休みに、念願の手術を受けました。妹はいつも、「高校に入ったらくつがはけるようになる。」と言って、楽しみにしていました。しかし結局、妹の足は、くつがはけるようにはなりません。おなかとおしりの皮ふを移植し、足の変形も治そうとしましたが、移植した皮ふは、黒く変色し、足の小指は3センチ程ずれたままです。手術前「運動ぐつもちゃんとはけるようになる。」と言っていた妹は、67年たった現在でも、まともにくつは、はけません。

小指がすれていたので、運動ぐつにあなを開けてはきましたが、今度はあなを開けたところがすれて、きずになりました。妹の足は、血の出ている日がないくらいでした。血が付くとみんなにきたなく思われるからと、菌みがき粉を血の付いたところへぬっていました。



ちょうど妹が足の手術を受けて1週間ぐらいたったところに、わたしは大阪に住む友達のところへ遊びに行きました。妹が「もうわたしの容態は安定したから、お姉ちゃん、行っておいで。」と言ってくれました。

準急列車で夕方に着いたのですが、友達の家が分からず、近くの交番でたずねました。わかいけい察官でしたが、とても親切に、1時間近くもわたしに付いて

探してくれました。やっと友達の家が見つかり、「ありがとうございます。本当に助かりました。」と言った時、はじめてけい察官から「どこから来られたのですか。」と聞かれました。わたしが「広島です。」と答えたたん、その人はパッと1歩下がって「あの原ばくの広島ですか。」と言われます。「はい。」と答えると、「ぼくは広島の女性は気持ちが悪い。原ばくにあった広島の女性は。」と、何かわたしがばいきんでもうつすのではないかという表情で言われました。それまで自分では、ひばくしたことを何とも思っていませんでしたから、ものすごくショックでした。わたしも、それからは絶対に、広島の人間だということを他人に言わないようにしています。

戦争は、心の底からのきずです。外しようだけではなく、色々なきずが残り、そして何十年たっても、そのきずがうずくのです。妹は、戦争の話、原ばくの話をとてもしやがり、そういう話をしていると、小さいときから必ずスツといなくなります。いつもこいストッキングをはいてきずをかくし、原ばくのことはいっさい言わないで過ごしてきました。



(国立広島原爆死没者追悼平和祈念館提供 藤恵京子さんの被爆体験記より)

※ケロイド：やけどの後の皮ふや肉がもり上がり、皮ふのひきつれ等が起こった状態。

けい察官に「広島^{じよせい}の女性は気持ちが悪い。原^{はら}ばくに
あった広島^{じよせい}の女性は。」と言われた時、藤^{ふじえ}恵さんは、
どんなことを思ったのでしょうか。



Handwriting practice area with dashed lines and a pencil icon.

★もう一度考えてみましょう。戦争・原子^{あま}ばくだんがうばったものは？

体や顔に残されたきずあとは、心の中にも大きなきず
を残したんだね。人の目をさけて家の中でひっそりと
くらす人や、外出する時は真夏でも長そでやマスクで
きずあとをおお^{おお}いす人も大勢いたそうだよ。



1965(昭和40)年の国の調査^{ちようさ}によれば、ひばくした女性^{じよせい}
はなかなか結^{むす}こんでできなかったそうだよ。



★学習をして、思ったことや考えたことを書きましょう。

Handwriting practice area with dashed lines and a pencil icon.

学習 2

復興^{ふっこう}と人々の願^{ねがひ}い

原子^{あま}ばくだんのひがいを受けながらも、広島市^{ひろしま}を復興^{ふっこう}させるために、人々^{ひとびと}は
どのような思いで活動^{かつどう}を行っていたのか考えてみよう。

命の水が通った

牛田^{うした}浄水場^{じようすいじよう}で働く堀野^{ほりの}九郎^{くわう}さんは、当
日、仕事が休みだったため、そ開先^{ひらき}の子ども
へ学用品を送ろうと、広島^{ひろしま}駅へ出かけた。用
事をすませ、その帰り道、にぎつ^{にぎつ}神社の前で
ひばくした。見たこともない光に包まれ、堀
野^{ほりの}さんの体は、あっという間にふき飛ばされ
ていた。命はなんとかとりとめたが、服はぼ
ろぼろ、左半身には大やけどを負った。立ち
上がることもできないくらい^{くらい}のいたみ。

「何が起こったんだ……。」

堀野^{ほりの}さんは、ぼう然とあたりを見回した。
その堀野^{ほりの}さんの目にうつった光景は、水を
求めてさまよう人々^{ひとびと}だった。堀野^{ほりの}さんは、
はっとした。すぐに浄水場^{じようすいじよう}のある牛田^{うした}方面
を見た。そこには、黒いけむりが立ち上って
いた。堀野^{ほりの}さんは、けがをしているにもか
かわらず、いたみをこらえて立ち上がり、けむ
りの立ち上る浄水場^{じようすいじよう}へと向かった。

牛田^{うした}浄水場^{じようすいじよう}は、ばく心地^{ばくしんち}から2.8kmの所^{ところ}にあった。火災^{かさい}はまぬがれていたが、木造^{もくぞう}
の建物はふっ飛び、屋根^{やまね}がわらはこなごなになって落ちていた。水を送るポンプ室^{ぽんぷしつ}の屋
根^{やまね}にはあなが開き、ゆかには、ガラスが一面^{いっぺん}に散らばっていた。

「水は！ ポンプは！ どうなっとる！！」

堀野^{ほりの}さんは、すぐさま市内^{しやうじん}へ水を送るポンプを調べた。停電^{ていでん}になったために市内^{しやうじん}へ水
を送るポンプは全て止まっており、使えるポンプは1台もなかった。

「いけん。一刻^{いっこく}も早^{はや}う、修理^{しゆり}せんと。」

ポンプ室^{ぽんぷしつ}の中は、一面^{いっぺん}にガラスが散らんしていた。堀野^{ほりの}さんは、だれもないその部
屋^{ぶつ}で、ただ一人^{ひとり}修理^{しゆり}を始めた。はじめに、機械^{きかく}の間にびっしり食いこむガラスの破^{やぶ}へん
を一つひとつ手^てで取りのぞいた。堀野^{ほりの}さんの手^ては、ガラスの破^{やぶ}へんできずつき、真っ赤
になっていた。それでももくもくと作業^{さぎょう}を続けた。

広島市水道局「紙芝居『命の水～ひろしま水道物語～』
のえい像^{えいざう}を見てみよう。

QRコード



「よし、これでポンプを動かせる。」
ようやく運転の準備ができた時、堀野さんは、あることに気付いた。

「ポンプの中に水がない！」

ポンプの中に水がないと機械は動かない。堀野さんは必死だった。やけどのいたみをこらえ、夢中になって作業し、なんとかポンプに水を入れることに成功した。そしてい
のるような気持ちで、ようやくポンプのスイッチを入れた。

「ドドドド……。」

ポンプ1台が生き返った。

「よし。」

しかし、このままでは市内へ水を送ることができる
のは、1時間が限度だ。

「ううん、どうしたらええんじゃ。」

堀野さんは、じっとポンプを見つめたままだった。



(提供/広島市水道局)

そこへ、

「堀野さん。」

わかい職員数名がかけつけてきた。

「おう、生きとったんか！ よかった。本当によかったのお。」

堀野さんを先頭に、かけつけたわずかな職員も加わって、復旧作業が続いた。

「大変です。配水池の水が、もう残りわずかです。」

「自家用発電機を動かし、ポンプ2号、3号を動かしましょう。」

時間との勝負だった。水がなくなる前に、自家用発電機でポンプ2号、3号を動かさ
なければ、再び水が送れなくなってしまう。

みんなは外に出て、送電するための鉄塔に、次々と登っていった。大やけどや大けが
をした体で。だれ一人、きずを負っていない者はいない。それでも、必死の作業を続
けた。そして、

「ドドドド…」2号ポンプ。「ドドドド…」続いて、3号ポンプが動いた。

8月6日の夕方には、水を市内へ送ることに成功した。

こうして、原子ばくだんが投下された日も広島のまちに水を送り続けることができ
た。そして、現在まで1日も欠かさず広島のまちに水が送り続けられている。

※配水池…上水道の配水量を調整するために、一時たくわえておく池

★堀野さんは、どんな気持ちでじっとポンプを見つめていたのでしょうか。

Handwriting practice area with a blue dotted border and a pencil icon at the top right. It contains three horizontal dashed lines for writing.

●もっと調べてみよう

一番電車



▲原子ばくだんによって
ひがいにあった電車

1945(昭和20)年8月6日、原子ばくだんによって、電車123
両中108両、電柱842本中393本がひがいにあった。中には、全
焼し、ばく風でだっ線した電車もあった。当日勤務していた
職員は、約950名いたが、そのうち500名がなくなったりけが
をしたりしたとされている。

社内には、こんな焼け野原に電車を走らせるのは、意味の
ないことだという意見もあった。しかし、広島市の復興を進
めるためには、まず交通の復旧を急がなければならないとい
う信念のもとに、ひばく翌日の8月7日から準備に取りかか
り、わずか3日後に、己斐から西天満町までの間で運転が再
開された。

(広島電鉄株式会社「広島電鉄開業80年創立50年史」より)

わしらのカーブ(樽ぼん)

インターネットでは
公開できません

1949(昭和24)年、広島市の復興が少しずつ進みながらも、市民の間
には、「本当に、もとのまちにもどるのだろうか。」と、不安の声が上
がっていた。そんな中、たきを登る力強い鯉(カーブ)のすがたに、
復興への思いをこめ、広島カーブはたん生した。

しかし、広島カーブはいきなり苦境に立たされる。開まくまであと
3か月にせまっても、選手が一人もいない。やっと集めた選手30人
は、全員素人だった。それでも、選手たちは猛練習を続けた。

1950(昭和25)年、市民が待ち望んだ広島での初試合。その日は約
1万人以上の市民がつめかけ、16-1で勝利した。その日、広島中がわき、勝ってふるえが止まら
なくなった人もいた。

しかし、資金難は続く。遠せいの列車代や宿はく費はなく、バットもグローブも買えない。選
手に給料もはらえない。

そんな時、「広島カーブ解散」のニュースが流れた。運営資金の400万円がはらえず、解散しなけ
ればいけないというのだ。

その発表の日、広島市民は立ち上がった。「自分たちの力で、広島にカーブを残す!!」史上最大
のぼん作戦が始まった。球場には酒樽が置かれ、みんながぼんをした。市内各地にもぼん箱が置
かれた。小づかいを全部ぼんする子どもや近所にぼんをお願いして歩く大人。

そして、その年の暮れ、ついに400万円が集まり、カーブのそん続が決定した。焼けあとから、
「広島復興の希望」の光をともし続けたのが広島カーブだった。

★あなたにとって、「守りたい広島(もの、心など)」とは何ですか。それは、
なぜですか。

Handwriting practice area with a blue dotted border and a pencil icon at the top right. It contains three horizontal dashed lines for writing.

広島平和記念都市建設計画の成立

広島平和記念都市建設法のたん生で、広島都市づくりの方向性が決まりました。

この考えで、都市づくりの計画として新たにつくられたのが、「広島平和記念都市建設計画」です。それまでの広島復興都市計画（1946(昭和21)年および1949(昭和24)年に決定)に代わる計画として、1952(昭和27)年3月に決定しました。

この「広島平和記念都市建設法」と「広島平和記念都市建設計画」をもとに、今日の広島が築きあげられました。これらは、現在においても広島市の都市づくりの柱として重要な役割を果たしています。

広島平和記念都市建設計画の主な内容とは

- 1 原子ばくだんのばく心地に近い中島地区に12.21haの公園を計画し、平和記念公園とする。
- 2 広島城あとをふくむ基町地区58.74haを中央公園として計画し、そのほか市内に多数の公園をつくる。
- 3 市内を南北につらぬく河川の美しさを生かすために、河岸緑地を計画する。
- 4 広島市の中央を東西につらぬく100メートル道路をじくとし、主な道路は、ごぼんの目のように計画する。
- 5 広島市は三角州上に位置し、大半が満潮面以下であるため、これらを考えて下水道を整備する。

インターネットでは公開できません

インターネットでは公開できません

◆広島市復興のあゆみ（略年表）

| | |
|-------------|--|
| 一九四五(昭和二〇)年 | 終戦 原子爆弾投下 |
| 一九四六(昭和二一年) | 広島市復興審議会設置 広島復興都市計画の決定 |
| 一九四九(昭和二四年) | 広島復興都市計画の決定(道路、公園、土地整理) |
| 一九五二(昭和二七年) | 広島平和記念都市建設法公布 |
| 一九五五(昭和三〇)年 | 平和記念公園内の平和記念館、平和記念資料館、公五堂が完成 |
| 一九五七(昭和三二年) | 供木運動の展開 (一九五八) 昭和三三年(一)の整備完了 |
| 一九六五(昭和四〇)年 | 都市計画道路比治山庚午線(平和大通り)の整備完了 |
| 一九六七(昭和四二年) | 原爆ドーム保存工事を完了(第一次) |
| 一九六八(昭和四三年) | (新)都市計画法の制定 |
| 一九七一(昭和四六年) | 広島復興都市計画区域内の「市街化区域」と「市街化調整区域」の都市計画決定 |
| 一九七三(昭和四八年) | 用途地域(8種類)の都市計画決定 |
| 一九八〇(昭和五五年) | 広島市が政令指定都市に移行 |
| 一九九〇(平成二年) | 原爆ドーム保存工事を完了(第二次) |
| 一九九六(平成八年) | (新)用途地域(12種類)の都市計画決定 |
| 二〇〇三(平成十五年) | 原爆ドーム保存工事を完了(第三次) |
| 二〇一五(平成二七年) | 被爆七〇周年 |
| 二〇一六(平成二八年) | 米国のオバマ大統領が広島を訪問 |
| 二〇一九(平成三一年) | 原爆ドーム保存工事を完了(第四次) |
| 二〇二二(令和三年) | 広島平和記念都市建設法制定七〇周年 原爆ドーム保存工事を完了(第五次) |

(文・略年表は広島市「ひろしまの復興」をもとに作成)

6年生

これからの広島



インターネットでは公開できません

平和なまちとは、どのようなまちでしょうか。平和なまちづくりに大切なことは、どのようなことでしょうか。これまで、広島とともに歩んできた人々は、広島のみちなどのような思いをもっているのでしょうか。これからの平和について、自分なりの考えをもち、できることを考えてみましょう。

●学習の流れ



学習 1 平和なまちづくり

広島のみちづくりについて考えよう。平和なまちとは、どのようなまちなのだろうか。



▲再開発中の基町地区の様子 (提供/西日本写真)



▲再開発後の基町地区の様子 (提供/西日本写真)



▲建物が密集した様子 (所蔵/広島市公文書館)

インターネットでは
公開できません



大きな火災がおこったんだね。
建物がこみあっているから、消火が
大変だったんじゃないかな。



▲焼けあとに建てられた家

高い建物が建てられたんだね。たくさんの人が住めそうだね。
公園も広くてきれい。多くの人利用できるね。



▲整備された高層住宅



▲整備された中央公園

★写真を見て、分かることや考えられることを書きましょう。

Handwriting practice area with five horizontal dashed lines and a pencil icon on the right.

再開発 すでに市街地になっているまちを再び整備して、新しくすること。

広島市役所でまちづくりに関わっていた加藤英海さんの話

広島では、原子ばくだんによってゼロからまちづくりをすることになりました。まちづくりというのは、生活環境を整えるものです。しかし、いくら建物や環境がよくなってもそこに暮らす人々が幸せを感じられなければ、よいまちとは言えません。私は、広島のまちを安全で快適にすることで、人々の心に平和を感じられるようにしたいと思ってずっとまちづくりの仕事に取り組んできました。

平和なまちづくりへの取組は、戦争や原子ばくだんの傷あとが見えなくなっても、復興が終わっても、続けていかなければなりません。



再開発後の基町地区での暮らしについて 住民の話

高層住宅での共同生活に変わったことで、よくなった面もありましたが、同時に、多くの不便も生じました。例えば、エレベーターや屋上遊歩道、ピロティといった共同施設の利用方法から、洗たく物の干し方、ごみの出し方といった日々の生活の仕方に関する事まで、いろいろなことが問題になりました。しかし、みんなで努力して自治会を組織し、問題を解決するように努めました。

その後、スポーツ大会や清そう活動などを行って、みんなで自分たちのまちを守るようにしています。

※ピロティ：2階以上を部屋とし、1階を柱だけにした建物の1階部分のこと。
(広島市「戦災復興事業誌」1995年、広島市「広島新史 都市文化編」1983年をもとに作成)

広島市は、このようなまちづくりを目指しているんだね。



◆広島市のまちづくり

広島市の都市像は、「国際平和文化都市」です。

これまで、広島市は、何よりも「平和都市」の建設に努力をしてきました。

しかし、それだけではなく、現在いろいろな視点から、住みよいまちづくりを目指しています。

- 「平和への願い」を世界中に広げるまち
- 地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまち
- 多様な市民が生き生きと暮らせるまち
- 保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまち
- 安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引きつぐまち など

(広島市総合計画 (広島市基本構想・第6次広島市基本計画 (2020年-2030年)) をもとに作成)

★今日の学習を通して、平和なまちづくりで大切なことは、どんなことだと考えますか。

広島市の目指す「まち」のイメージ



(図：「世界に誇れる「まち」の実現に向けて—市政推進に当たっての基本コンセプト—」をもとに作成)

学習 2 暮らしの中の平和

自分たちの身近にある平和について考えよう。



どのような記事があるかな。

インターネットでは
公開できません

インターネットでは
公開できません

上の二つの記事を読んで、思ったり、考えたり
したことを出し合いましょう。



ぼくたちの安全を守るために、ちいき地域の人々が協力している
ことがわかった。



どしゃさいがい土砂災害は、わたし私たちの暮らしをうばってしまうので、
とてもこわい。

●新聞記事をもとに、平和について考えましょう。

手順



- 見出しに注目して、新聞記事の内容をつかみます。
- 平和な内容の記事と平和ではない内容の記事に分けます。
- なぜ「平和」、「平和ではない」と考えたのか、理由を考えます。
- グループで意見を交流し合います（自分の意見と友達の意見を比べ、自分の考えと似ている所や異なっている所を見つけながら交流し合います）。

| | 記事の見出しや内容 | そう考えた理由 |
|-------------|-----------|---------|
| 平和な内容の記事 | | |
| 平和ではない内容の記事 | | |

★学習をして、考えたことを書きましょう。

(NPO法人これからの学びネットワーク「ピースクリエイターになろう」資料より)

学習 3

より平和なまちづくりを目指して

平和なまちとは、どのようなまちだろう。



平和なまちとはどのようなまちか、
おうちの人や地域の^{ちいき}人に、インタビューしましょう。

ワークシート① インタビューしよう

聞いた人： _____

その人の考え： _____

聞いた人： _____

その人の考え： _____

聞いた人： _____

その人の考え： _____

聞いた人： _____

その人の考え： _____



どのようなことを基準に
しているのかな。



いろいろな考えが
あるんだね。



平和なまちとはどのようなまちか、
グループで話し合しましょう。

ワークシート②

友達の意見を聞いて、思ったことや気づいたことなどをメモしておこう。



あなたの住んでいるまちをもっと平和なまち
にするために、あなたにできることは、どの
ようなことだと思いますか。

ワークシート③ 自分の考える平和なまちとは



▲きのこ雲

(撮影/米軍 提供/広島平和記念資料館)



- 色は全壊全焼区域を示す。
- 色は全壊区域を示す。
- 色は半壊地域を示す。
- 色は川及び海面を示す。
- 色は山林を示す。



▲らん干の影が残る橋

(撮影/米軍 提供/広島平和記念資料館)

原子爆弾被災状況
昭和20年(1945年)8月6日
広島市街説明図



▲ばく風でくずれた建物の
たてもの

(撮影/米国防略爆撃調査団 所蔵/米国立公文書館 提供/広島平和記念資料館)



▲ばく風で折れた樹木

(撮影/川本俊雄 提供/川本祥雄)

メモ

A large rectangular area with a blue border and a dotted inner border. It contains 20 horizontal dashed lines for writing. In the bottom-left corner, there is a small illustration of a red origami crane.

メモ

A large rectangular area with a blue border and a dotted inner border. It contains 20 horizontal dashed lines for writing. In the bottom-right corner, there is a small illustration of a red origami crane.